

## SAICM 国内実施計画に関する諸外国の動向

## 1. 先進諸国の動向

2006年11月の先進国グループ会合に先立ち、各国におけるSAICM実施のための行政機関間の仕組、関係者の会合の開催、国内実施計画策定作業の開始等の状況についてアンケートが実施された。その結果を以下に記す。

	行政機関間の仕組み	関係者の会合の開催	国内実施計画策定作業の開始
オーストラリア	既存の仕組みを活用	現在実施中の化学物質及びプラスチックに関する規制のレビューに関係者が参加。	既存の取組のレビューを実施予定。
ベルギー	無し	2007年1月開催予定	無し
カナダ	既存の仕組みを活用	未実施（非公式な協議のみ）	第2回ICCMまでに策定予定
デンマーク	既存の仕組みを活用	2006年11月開催	策定予定なし。（既存制度の枠内で取組）
エストニア	無し	無し	無し
フィンランド	化学品諮問委員会の国際問題部会がSAICMを扱う	左記の部会に関係者が参加	SAICM国内実施計画の策定予定はないが、2006年5月に策定した国家化学物質計画が、すでにSAICMの目標を目指したものとなっている。
ドイツ	無し	無し	策定開始
日本	SACM関係省庁連絡会議を設置	未実施。今後開催予定。	関係省庁連絡会議において策定予定。
メキシコ	SAICM、化学物質関係条約等を扱う国家フォーラムを開催。	左記フォーラムに関係者が参加。	英国との二国間協力プロジェクトを予定。
ノルウェー	有り	関係政府機関の会合を開催。	無し
スロバキア	無し	無し	無し
スロベニア	化学物質安全性関係省庁会議がSAICMを扱う	2006年12月開催予定	2007年春策定予定
スペイン	POPs条約も扱う関係省庁連絡会議	POPs条約国内実施計画に関する会合でSAICMについても討議	無し
スウェーデン	調整のための会合を開催	調整のための会合を開催	無回答
英国	WSSDの化学物質関連目標の達成計画に用いた仕組みを活用	2006年10月の化学物質関係者フォーラムで議論。	WSSDの化学物質関連目標の達成計画によりフォローアップ
米国	既存の仕組みを活用	北米環境協力協定に基づく化学物質管理に関する会合を開催。今後SAICMに関する会合を開催予定。	計画そのものの策定に至らない可能性もあるが、既存のツール・情報の幅広い活用、優先分野・活動計画・対処能力開発のレビュー等について検討予定。

## 2 . SAICM 実施に関するガイダンス文書作成の動向

国連訓練調査研究所 (UNITAR) では、各国における SAICM 実施のため、以下の分野のガイダンス文書を作成している。

- 統合的国家プログラム
- ナショナルプロファイルの作成
- 行動計画の作成
- 情報交換
- 省庁間の調整
- 財政資源の動員

カナダは、ICCM において各国の SAICM 実施状況をレビューするに当たっての、実施状況報告様式及びその評価のための指標を開発するための活動を、地域会合等で提案している。

カナダ提案の指標の要素及び実施状況報告の仕組み

(指標の要素)

- SAICM 実施のための国家又は地域の行動計画
- SAICM 実施を可能にする法的・行政的手段
- SAICM の効果的な実施のための強化された組織及びインフラ
- 化学物質の性質、製造、使用、廃棄等に関する情報共有を強化するための行動
- 化学廃棄物の処理の慣行
- クイックスタートプログラムその他の技術支援の実施

(実施状況報告の仕組み)

- ICCM に合わせ、3 年ごとにアンケートを提出
- 事務局は、アンケートを取りまとめた報告書を作成
- 事務局は、ICCM 等の指示の下に、アンケートを定期的に見直し